

役員・委員長退任挨拶

●富田会長

皆様のお蔭を以て一年間会長を務めさせて頂きましたが、本日で会長を退任致します。一年間に亘る会員の皆様のご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

とりわけ一色幹事、本條直前会長、伊藤 SAA、片岡会長エレクトを始め、役員・理事の皆様。そして、本年度から事務局を担当して頂いた小倉さんや毎回の給仕でお世話になりました皆様。すべての皆様のお蔭で、予定通り遂行することができました。今一度、心より厚く御礼申し上げます。

一年間を振り返れば、卓話や委員会アワーに於いては、会員の皆様が夫々趣向を凝らして、クラブの為に尽力を頂きました。汗をかき、移動の伴う例会は印象深く、本條年度に続く喜多村社会奉仕委員長による「しろう自立の家」でのサロンコンサートや、高田職業奉仕委員長による上林会員の会社での移動例会、池田親睦委員長による新年家族例会や親睦家族旅行、観月例会、先週の家庭集会などが特に印象に残りました。

地区や西播第2グループ関係では、IM での巨木についての発表や先日のウクライナ・バレエ、安行ガバナーの公式訪問、3月の地区大会などが良い思い出となりました。

個人的には、できる限り地区行事やセミナーに参加し、そこで得たものを会長の時間などを活用してクラブの皆様に報告して参りました。

残念であったことは、広報委員長やその他の会員の退会、財団委員長や社会奉仕委員長の休会があり、一方で田中会員、青田会員の入会があったものの、会員が純減となったことです。尚、委員長不在となり、急遽、広報委員長を本條直前会長に、財団副委員長を永富会員に受けて頂いたことに改めて感謝致します。

また、会員の純減により、財政的にも緊縮ムードとなり、予定されていた 65 周年記念事業やその他の活動にも影響しました。

昨年発足した戦略計画委員会については、クラブ運営に活用できなかったのは残念でしたが、これは私の不徳の所為と反省する処です。

本年度は、基本的に本條年度の流れを踏襲するもので、時代の要請を受け、クラブをコンパクトにしながら質を維持するよう努めて参りましたが、次年度は片岡会長の下、組織体制の刷新がクラブの活性化につながることを期待されますので、微力ながら支援したく存じます。

最後になりましたが、もう一度すべての皆様に感謝を申し上げ、退任の挨拶と致します。誠に有難うございました。

●片岡副会長・クラブ奉仕委員長・例会担当委員長

今年度、副会長、クラブ奉仕委員長、及び例会担当委員長を拝命し、皆さまのご協力を以てなんとか終えることができました。ありがとう存じます。

次年度の会長に備えて、学びの時間をたくさんいただいた一年でした。

退任の挨拶にふさわしくありませんが、次年度に向けて、教育哲学者のウィリアム・アーサー・ウォードの言葉を借りるなら、ロータリークラブに「所属するよりも参加すること。心配するより助けること。信じているより実践すること。公平であるより親切にすること。許すより忘れること。そして夢見るよりも動くこと」にならぬ、主体的に動き、良い意味で龍野ロータリークラブに波風を立たせようと考えています。

オリンピック競技で、波が立たなければサーフィンはできません。風が吹かなければヨット競技もできません。波や風を適度に吹かすことをいとわず、進んでまいりたいと考えています。今年度同様に、新年度も引き続きよろしく願いいたします。

●伊藤 SAA

本年度 SAA アワーにて、SAA についてその役割などをお話させていただく機会を頂戴しました。

お話しするため My Rotary だけでなくネットに掲載されている情報をいろいろ調べました。SAA アワーの時は、さも自分はよく知っているようなお話の仕方になっていたような記憶がありますが、皆さんお察しの通り、実際は単なる受け売りでした。

私が認識していた SAA の役割よりも相当重要な職責があったわけですが、実際の自分と比較しますと、例会運営において大してお役に立つことができなかつたのではないかと反省しております。ウィットに富んだ気の利いたジョークを挟むこともできず、粛々と進めるだけになってしまいました。

ただ、スピーカーや例会担当の皆さんが時間をうまく調整いただき、ほぼ時間通りに例会を運ぶことができたと喜んでおります。

最後になりましたが担当頂いた皆様には心よりお礼申し上げまして退任の挨拶とさせていただきます。

●高田職業奉仕委員長

何回目かの職業奉仕委員長です。毎回感じることですが、委員長として皆様に何かをお示したというよりは、私自身がロータリーの職業奉仕の理念を勉強できた1年であったと思います。

例えば、上林建設様への移動例会を企画した際も、ロータリーの書籍に当たったり、職業奉仕の具体例に触れられたりと、理解を深めることができました。

一年間、良い勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

●崎野社会奉仕副委員長

本年度の基本方針を「地域に居住する人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献する社会奉仕活動の実践」とし、また公共イメージ向上のため、地域におけるロータリー活動についての情報をより正確に伝えることを目指し、以下の活動をしました。

社会奉仕（担当：喜多村委員長）について

(1) 社会奉仕委員会アワー（9月21日）

地区・社会奉仕委員会社会奉仕小委員長 小坂圭一様（尼崎東 RC）による地区補助金活用についての講義を受講しました。

(2) 地域の奉仕活動（10月22日）

地区の奉仕プロジェクト特別会計の支援を受け、共生社会への関心喚起や、DEI 理念の普及を図るため、チラシ・新聞折り込み等を作成頒布し、障害者施設（チェシャーホーム）において、「ひょうご障害者福祉事業協会」と共に、一般市民及び施設関係者を対象にクラシッ

ク音楽のサロンコンサートを開催し、165名の参加を得て有意義に終えることが出来ました。

(3) 地区・社会奉仕セミナーに出席（12月2日）

社会奉仕はロータリアンにとって献身に値することであり、クラブの社会的責務である、という学びを得ました。

国際奉仕（担当：崎野副委員長）について

(1) 地区・国際奉仕セミナーに出席（10月28日）

財団補助金のしくみや、種々の国際奉仕プロジェクトについて研修しました。

(2) 「たつの市国際交流フェスティバル 2023」への協力

伊藤会員のお力添えにより、協賛金を寄付しました。

(3) 国際奉仕委員会アワー（2月29日）

地区・国際奉仕副委員長兼国際奉仕小委員長 有川裕之様（姫路南 RC）から、「国際奉仕プロジェクトー人道的プロジェクトー」というテーマで、奉仕プロジェクト事例の紹介を交えて講演いただきました。

(4) 西播第2グループ ウクライナ支援事業への参加（6月2日）

地区補助金の支援を得て、「ウクライナ人道支援チャリティーバレエコンサート」を西播第2グループで共催し、積極的な募金活動も併せて実施しました。龍野クラブから15名の会員家族の参加を得、また多くの会員の皆様に設営等ご協力を賜りました。

青少年奉仕（担当：森口副委員長）について

(1) 青少年奉仕担当委員会アワー（代理担当：本條会員）

地区・危機管理委員長 黒田建一様（西宮イブニング RC）から、「ロータリーにおける危機管理について」の講義を受け、時勢にあった危機管理について学びました。

一年間、皆様の多大なるご理解とお力添えをいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

●永富財団副委員長

皆様のご厚情、ご協力のお陰で無事務め終えることができましたこと、心よりお礼申し上げます。

10月19日（米山月間）に、米山奨学生 張 弘様をお招きして「インクルシブスポーツを実現しましょう」と題して、特別支援教育での教材活用を想定した、ポチャシステムを開発した話を聞き、日本での留学・研究について、及び米山奨学生としての生活・活動を知り、米山記念奨学制度の良さを再認識することが出来ました。

また、11月9日（ロータリー財団月間）の委員会アワーでは、地区・ロータリー財団委員会資金推進小委員の山根 章様をお招きして、ロータリー財団への寄付について講話を戴き、財団について一層の理解を深めました。

上記の活動に併せて、ロータリー財団並びに米山記念奨学金への寄付をお願いしましたところ、皆様のご理解ご協力により、次の通り寄付金が集まりました。重ねて厚くお礼申し上げます。

す。

ロータリー財団	
年次寄付	4,310.00 ドル
ポリオ寄付	890.00 ドル
米山記念奨学金	
普通寄付	192,000 円
特別寄付	180,000 円

●神名会員増強委員長

当委員会は、「龍野ロータリークラブの維持継続、発展のために存在する」をテーマに掲げた一年間でした。

会員数の減少、高齢化等の諸問題により、クラブの維持継続に支障が出ないように、会員の増強を進めてきましたが、結果に結びつかず申し訳ない気持ちでおります。

会員増強委員会アワー（8月24日）で見直したアプローチリストを次年度に引き継ぎがさせていただきます。

今年度、純増2名の目標は達成できませんでしたが、次年度も引き続き会員増強に関わらせていただけるようなので、目標達成に努力を続けます。

●池田親睦委員長

創立以来のクラブモットーである「親睦こそが我がクラブ」に従い、会員及び会員家族相互が親交を深め、親睦がより深められるよう企画運営して参りました。

本年度、富田会長のテーマは「つながり」を深める」です。諸事業を通じて、質の高い会員交流の場を提供し、会員相互のつながりを一層深めることに寄与出来たのではないかと思います。

一番印象に残った事業は5月の親睦家族旅行です。長岡京市の「錦水亭」にて、たけのこ料理を頂きました。このアイデアを下さったのは富田会長ですが、料理も美味しく雰囲気も最高で、参加された会員の皆様にはご満足頂いたのではないかと思います。その後、一色会員と神名会員が再訪されたことは裏事情筋より知っております。

次年度は段委員長の企画運営であります。より多くの会員にご参加頂きますようお願い申し上げます。

●本條広報委員長

先ず以て、凶らずも圓尾委員長の後を引き継いで、広報委員長のお役を頂きましたことに改めて感謝を申し上げます。

当委員会では例年通り、週報の発行とホームページの更新を基本に、当クラブのPRに努めました。週報については、昨年度の内製化から試行錯誤を続けて、まずまず軌道に乗っております。ホームページは、今のところ最低限の情報発信に留まっており、残念ながら改善を図るまでには至りませんでした。が、これからの若い世代への訴求を考えると、ホームページの充実は勿論、SNSを含むネットの活用はクラブにとって取り組むべき課題の一つといえます。

3月の広報委員会アワーでは、「戦略としての広報」というテーマで、ロータリーに於ける広報の戦略的位置づけとその重要性、及びオープン例会や広報ツールなどクラブに於ける様々な取り組み事例についてプレゼンを差し上げました。

その折も申し上げましたが、RI がどれだけブランディングにお金をかけようとも、或いはクラブ広報がどれだけ頑張ってみても、メンバーのビヘイビアが伴っていなければ何の意味もありません。いわばメンバーこそが、ロータリーのブランドを形成する「最強の広報チャンネル」です。

そんな広報の第一歩が、ロータリーバッジの着用です。昔も今もロータリーの「歯車」は、先人から託された誇りのシンボルです。我々一人一人が日頃からこのバッジを身に着けて、ロータリーの理想を自らの生活態度で示すなら、それが何にも勝るクラブ広報となるのではないかと思います。

一年間に亘ってお世話になりました皆様のご厚情に御礼を申し上げまして、退任の挨拶と致します。

●一色幹事

理事・役員の皆さまを始め、会員の皆さま、事務局の小倉さま、給仕の皆さま、大変お世話になりました。

先日、地区委員報告の中で本條会員から、幹事はクラブの事務総長であり、「就任前の一年でどれだけ準備ができているか」が就任年度の成否を左右する、というお話がありました。一度目の幹事するとき、その前年は本條会員が幹事で、クラブ細則の大幅な見直しをなされ、その過程で勉強会のような形式で、私も細則を何度も見る機会がありました。

この度、二度目の幹事をさせて頂きましたが、一度目のうっすら記憶の残る細則のままであったことを終盤になり思い当たりました。思い返すと、一度目の幹事就任前の一年はボイストレーニングにも通いました。熱量の違いは否めません。

この一年、前の席に座って気になったのは、会員数が随分減ったことです。新年度は、会員増強委員長をさせて頂きませんが、入会される方も既存の方も、人間磨きができ、かつ楽しく充実したロータリーライフが送れるよう努めたいと思います。

一年間ご協力頂きまして、誠にありがとうございました。